

区分

A 中小都市、過疎地など
【人口10万人未満の自治体】

時間的空白の解消

官民共創

教育・スポーツ・文化 × 交通

対象地域

- 地域：京都府京田辺市
- 人口：73,753人
- 世帯数：31,693世帯
- 高齢化率：23.9%
- 面積：42.92km²

背景・お困りごと

- 人口減少と高齢化が進む市南部の打田・高船地域では、路線バスの運行本数が1日2往復（4便）と少なく、**通勤・通学・通院の時間帯に便が無い**
- 路線バスの増便を求める声があるものの、**極めて深刻な運転士不足により増便が困難であるため、地域住民の輸送ニーズに答えられていない**

実施内容

スクールバスに地域住民が混乗し、路線バスと接続することで、地域住民の移動手段を確保

概要

- モード：スクールバスへの地域住民の混乗（道路運送法における許可又は登録を要しない運送）
- 予約方法：先着順※スクールバスを利用する児童・園児が優先
- 料金：無料

重要ポイント

- 主要駅への路線バスは1日2往復4便であったが、**スクールバスと路線バスの接続により5便の増便を可能とした**
- 子供が安心・安全に利用できる様に、**スクールバスの時間や便数を変更せず、路線バス側と時間変更の調整を行い、新たな費用負担の発生なしに増便が出来た**
- 議会に対して、日頃から南部地域の公共交通の問題について提起をしておくことで、スムーズに実証実験の実施が出来た

効果の例

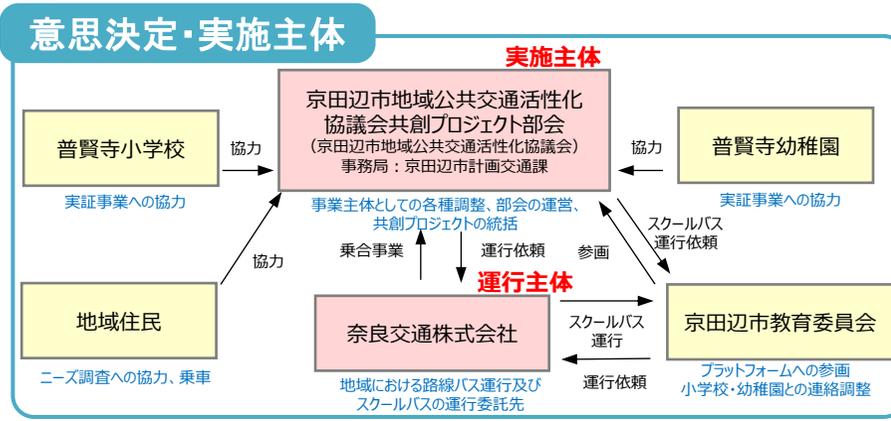


【従来】
(往路) 10:03高船発 → 三山木駅
(復路) 16:26三山木発 → 高船着

↓
帰りが遅く通院や買物に不便

【実証後】
(往路) **7:40高船発 → 8:00水取バス停着**
⇒〈乗継〉8:16水取バス停発→8:28三山木駅着
(復路) 11:28三山木駅発 →11:40水取バス停着
⇒〈乗継〉**11:45水取バス停発→12:00高船着**

↓
スクールバス混乗で早く帰宅できるように！



運行実績・成果

- 運行期間：2025/1/14～2025/2/14（平日23日間）
- 利用者数：35名（115運行）
- 平均乗合人数：0.3人

収 入	0円
支 出	初期費用 14,786,200円 (車両購入費、委託・外注費)
損 益	ランニングコスト 506,000円 (運行委託費)
	▲15,292,200円 ※市教育委員会が負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

- ### 成果
- 23日間で35名の利用があり、**1日1人の想定を上回った**
 - 移動の目的が日常生活における買い物や通院、遊びといったものが多く、**移動手段がなく、抑制されていた外出機会を確保する効果があった**
 - 実証実験を通じて、児童の登下校への支障はなく、**地域住民・児童達の受け止めも良好であった**

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令（予定）：道路運送法第4条許可>

- 地域住民の利用が堅調であれば混乗を継続する
- 持続可能性を見極め、地域住民については利用料金を徴収するシステム（一般乗合旅客自動車運送事業）に移行し、公共交通ネットワークの維持に繋げていく